

平成29年2月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70  
静岡県総合社会福祉会館内TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312  
E-mail: sizurosi@vesta.ocn.ne.jp  
<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

# しづ老施協

卷頭言

## 『会員施設と共に』



静岡県老人福祉施設協議会  
副会長  
前田 万正

今年度、副会長を拝命しました久能の里施設長の前田と申します。特養の施設長になってまだ3年目の新米ですが、前副会長である高麗の村松前施設長より「介護福祉士会で役員をやっていたから大丈夫」と押され気軽に受けてしまいました。ふつつか者ですが、諸先輩方が築いてきた静岡県老施協がさらに発展するよう微力ながら努めて参る所存です。

さて、11月11日の『介護の日』においては、各支部と静岡県介護福祉士会の協力の元、県内4か所にて200名余りの参加を得て、街頭での啓発活動を実施しました。参加していただいた会員の皆様ありがとうございました。

『静岡県老施協』や『介護の日』を知らない県民の方はまだまだ多いと思います。このような啓発活動を通じて県民の皆様に知っていただくことは大切なことだと思いますので、引き続きご協力をお願いします。

ところで『安心して老い、自分らしく生きる』ことは、誰もが願っていることだと思います。会員施設においても、関わりのある目の前のご利用者の幸せのために日々奮闘されていることと思います。また、国の地域包括ケアシステムの推進により、社会福祉法人の地域貢献に果たす役割はますます重要視されています。この一方で、個々の職員のスキルアップを図り、チームで対応し生産性をあげていくことは、どの法人でも課題であると思いますし、介護・看護職員の確保、地震や集中豪雨に対する災害対策など魅力ある働き甲斐

ある職場作りは並大抵ではありません。そこで、静岡県老施協はこれらの課題を静岡県健康福祉部とのタウンミーティングの場や吉林副知事への要望書の提出の際に、率直に申し上げご理解とご協力をお願いしたところであり、自分達も一層努力していくことが重要と考えています。

石川会長は、常々「会員のための静岡県老施協でなければならぬ」と熱く語っています。今後は、特に介護ロボット等先端技術の活用による魅力ある職場づくりや防災・防犯対策の充実を図り、介護施設が相互に支え合い事業への支障を最小限に防ぐことが大切であると思いますし、その実現のために会員の皆様と力を合わせ歩んでいく所存です。

最後に、会員の皆様にとりまして、この1年がすばらしい年になりますようご祈念申し上げます。



# 社会福祉法の目的 “地域福祉” を改めて噛み締めて



静岡県健康福祉部介護保険課 杉山 勝

貴会及び会員の皆様には、県民の福祉及び高齢者福祉行政に御尽力をいただき、感謝を申し上げます。

私事からですが、勤務30年前は保健予防課で成人保健や保険者指導、20年前は高齢者対策課で在宅3本柱や訪問入浴等、10年前は長寿政策室で計画策定や療養病床再編と、時代の変化を経験してきました。

策定した第4次高齢者保健福祉計画を読み返すと、自分の原点と感じます。計画は、第1部で初めて10年後の将来を『高齢期を生きる誰もが“自らの意思で、その人らしく暮らせる長寿社会』と描き、実現のため全県民へ「協働メッセージ」を発し、第2部3か年計画は、“地域包括ケア”を始めることもあり、高齢者福祉事業のみから県庁内の高齢者に係る事業全てを網羅し、失われる“絆”的再構築への取組を求めました。

介護保険課は、「介護保険制度」、「介護人材の確保」、「介護施設等の整備」に取り組んでいます。

介護保険制度は、社会全体で高齢者を支える「介護の社会化」を目指し誕生、今、介護人材確保のため「介護分野の社会化」が必要で、民間企業にはある福利厚生制度などを整備することです。キャリアパス制度は

重要な一つで、県は制度の導入・定着支援に取り組んでいます。今後は、認証・評価制度を導入、情報公開と透明化を進め、働く人がやりがいや将来の展望を持って、その結果、学生や求職者に働きたい、家族に働きさせたいと思われる介護職場を目指します。

外国人介護職員の「ありがとうと言ってもらえる」、「家族との時間が持てる」、「収入が安定している」を聞き、介護で働く良さは限りなく、貴会の新たな挑戦「21世紀委員会」でも、若手職員が一生懸命で、その姿は輝き、参加者に伝えられたと感激しました。

“地域包括ケア”と“地域医療構想”的実現には、小規模特養や小規模多機能等、訪問看護や訪問介護など、地域に密着したサービスが必然で、貴会が“地域福祉”的“要”として牽引されることを期待します。



静岡県主催写真展より

# “より良い介護をめざして” ～県政さわやかタウンミーティング～



企画経営委員長 大塚芳正  
(すどの杜施設長)

平成28年11月17日（木）に静岡県教育会館において、県政さわやかタウンミーティングという懇談会が開催されました。この懇談会は、静岡県福祉長寿局と静岡県老人福祉施設協議会との意見交換の場として、従来から実施されているものです。今回の参加者は、静岡県から高橋福祉長寿局長をはじめとする担当課長等の7名、老施協から石川会長をはじめとする副会長及び各委員長等の20名、総勢27名の会議でした。

この懇談会は、静岡県当局と老施協が忌憚のない意見や情報交換ができる貴重な機会であり、これら意見交換により実現した制度が少なくありません。そのひとつにケアフェスタがあります。

懇談会のスタイルは、老施協より意見要望書をとりまとめて事前に提出し、当日それに対する県の見解や回答があり、その後意見交換をするというものです。老施協の各委員会から提出された意見要望を企画経営委員会がとりまとめました。今年度は以下の項目が提出されました。

- I 介護関連情報の共有化について
- II 地域連携の推進について
- III 介護人材の確保・養成と介護職の社会的評価向上に向けた取り組みについて
- IV 防災、防犯対策の充実・強化について
- V 養護老人ホームの運営について
- VI 軽費老人ホームの運営について
- VII その他

全般的には、社会保障全般の見直しが進行している中で課題が山積しており、行政としても事業所としても大変な時期にあるという認識でした。静岡県としては、県民の福祉の増進のために、老施協との協力体制について高く評価をしており、この体制を維持していきたいという考え方方が伝わってきました。個別には静岡県高齢者福祉研究大会、21世紀委員会の取り組み、優先入所基準の改定の協力などが高い評価として取り上げられていました。また、介護保険関連事業としての総合事業、養護老人ホームの措置など市町が対応す

ることがらについても県として協力していくことを明らかにしていました。一方で、県は、特養入所者については、いまだ待機者が多く、まだまだ施設整備を必要としているという認識を示しました。これは老施協側の、入所待機者がほとんどない地域もあるという認識と相違があり、今後の老施協の取組に示唆を与えるものだと考えております。

全体として、今後もこの県政タウンミーティングを一層盛り上げていくことが必要だと感じました。



静岡県教育会館にて

## 正副会長の活動

- 11月25日（金）副知事及び健康福祉部長に要望活動を行いました。
- 1月5日（木）川勝知事に新年の挨拶訪問を行いました。



知事室にて

## 新人職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

### みくらの里

(下田市)

- ① 鈴木真樹・ケアパートナー
- ② 23歳の誕生日を迎えたことです。今年は、家族・友人に加え、職場の仲間や先輩方からも祝って頂き、とても嬉しかったです。
- ③ 澤穂希さんです。現役を引退してからも、女性として輝き続ける澤さんにあこがれています。無事に出産して、「お母さん」として活躍する澤さんを楽しみにしています。
- ④ 悩みますね。欲しい物も、行きたい所もたくさんあるので。でも、まずは両親への感謝を込めて何か喜びそうなものをプレゼントします。
- ⑤ ご利用者・職員ともに笑いの絶えない施設にしたいです。笑顔いっぱいの環境で過ごせたら幸せですよね。



### つばさ

(焼津市)

- ① 青木佑香・介護職
- ② 利用者様に顔と名前を覚えていただいたこと
- ③ マツ・ミケルセン（俳優）
- ④ 世界一周の旅
- ⑤ 利用者様が楽しめるレクリエーションをたくさん考案し、笑顔の絶えない施設にしたい



### 第二砂丘寮

(浜松市)

- ① 内藤拓実・介護職員
- ② 担当するご利用者様に自分の名前を覚えて頂いたこと
- ③ 弘中綾香（アナウンサー）、中田ヤスタカ
- ④ 家族旅行、友達と旅行
- ⑤ ご利用者様が不安にならない、安心できる施設



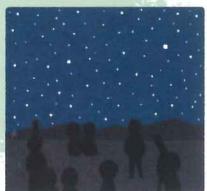
各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは  
 ④ もし宝くじで1億円当ったら何に使うか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
- ③ 好きなタレント、スポーツ選手

### シャローム富士川

(富士市)

- ① 遠藤雅士・ケアワーカー
- ② カシオペア流星群を見に行つた事
- ③ ジェフリー・イグナシオ【ビリヤード】
- ④ 世界一周旅行
- ⑤ 入居者、職員みんなが笑顔でいられる施設



### 海山荘

(牧之原市)

- ① 小池真太郎・介護職
- ② 小さい頃、外せなかった知恵の輪を外せたこと
- ③ 勝俣州和さん
- ④ 海外旅行
- ⑤ 「笑顔」と「ありがとう」が溢れた施設にしていきたい



### さぎの宮寮

(浜松市)

- ① 鈴木あかり・介護職
- ② 友達に子どもが産まれたこと
- ③ 嵐の大野君
- ④ 旅行に行きたい（イタリア ベネチア）
- ⑤ 落ち着いて過ごせる施設



# 静岡県老施協西部支部の活動紹介 秋の研修会と「介護の日」啓発活動

静岡県老施協西部支部事務局 唐澤晶彦  
(特別養護老人ホーム西島寮)

11月7日（月）サーラシティ浜松に於いて、参加者約90名で「管理者及び中間管理職職員研修会」を開催いたしました。

今回は先日の神奈川県の障害者施設での悲惨な事件を受けて、防犯講演を企画しました。

「社会福祉施設における防犯対策の基礎知識～被災時における対処方法・留意点など～」という演題で講師に浜松中央警察署生活安全課の赤堀警部補と浜松中央地区防犯協会連合会の三ツ井防犯指導員をお招きして、ご講演いただきました。

講演の前半はビデオ鑑賞でしたが、警察で制作したのが不審者・犯人をリアルに作り込んでいて、大変良く出来ていている内容であった為、参加者は緊張感を持って視聴することが出来たかと思います。

後半は実演を交えて、効果的な「刺股」<sup>さすまた</sup>の取り扱いや簡単な護身術を教えていただくと共に、最近の振り込め詐欺の傾向についてもお話しがあり、大変実のある内容でした。

11月11日（金）は恒例となりました「介護の日」街頭キャンペーンを午前10時からJR浜松駅北口で開催

いたしました。

今回もケアットちゃんと会員施設から約60名参加があり、少し汗ばむくらいの晴天の中、皆さんで道行く人達にノベルティー（カラーメッシュケースとバンドエイド）を配布しました。

天候に恵まれた上に朝の混雑が落ち着いた時間帯でもあったことから、一人一人にきちんとお渡しできました。

ただキャンペーン活動をしていて感じたことは、この日が他の色々な記念日と重複していて、まだ広く認知されていない印象でした。

次回以降は、例年とは何か違う仕掛けも必要では、とのご意見も参加者からありました。

キャンペーン終了後には、参加者全員で記念写真を撮りました。

皆さん「いい介護」そのものの「いい笑顔」で写っていますので、是非ご覧下さい。

来年度も会員の皆さんで素敵なイベントにしていきましょう。



## 養護委員会の活動

養護委員会委員長 山本信三

4月から養護委員会委員長をやらせていただいている賀茂老人ホームの山本です。よろしくお願いします。

養護老人ホームは、平成18年の老人福祉法の改正後、運営費が一般財源化されましたが、措置費による措置委託はそのまま現在に至っており、ここ数年施設への入所率は県内26施設（内会員施設24施設）で80%内に留まっております。

養護委員会では、この状態が改善されるよう平成25年度からアンケート調査等の活動を行っており調査結果を県に訴えていますが、本年度は6月に4月1日の

入所率と平成27年度経営状態などの簡易なアンケート、10月は10月1日の入所率と現状、今後の要望などの調査を実施させていただき会員の皆様にはお手数をおかけしたところです。いずれもアンケート調査後、全養護委員会委員による2回の情報交換会を実施し、養護老人ホームの運営について4点の要望をお願いしたところであります。

養護委員会としては要望とともに今後、県に現状を訴える機会を設けていただき、関係の皆様に住まいと生活支援を中心とする支援を行っていく重要な施設であると理解をしていただけるよう活動していきます。

## 軽費委員会の活動

軽費委員会元委員 三輪尚士

現在、軽費老人ホームは全国では2230箇所の施設があります。「軽費老人ホームは、年金だけで暮らせて、高齢となっても悠悠自適な生活が送れるよう、ただし、建物に関する費用負担は利用者自身が行う」と、全国で多くの施設が作られるよう制度設計を行った」と、厚労省の担当の方が話していました。その、理念のもと静岡県老施協では現在45施設が加盟しています。各施設は単独型・特養併設型・特定施設・軽費A型と微妙に運営のスタイルに違いはありますが、いわゆる、「高齢者の住まい」というくくりの元、比較的元気な高齢者の皆さんを利用される施設となっています。軽費委員会の活動は、主に研修会の開催があります。介護職員・栄養士・相談員・施設長など職能別な研修が年に1回行われているのをはじめ、県への要望の取りまとめがあります。現在の課題は、介護職員待遇改善加算に相当する待遇改善を図る件。低所得な利用者増加に伴う、費用負担の課題がありますが、なかでも、

20年以上が経過した施設の修繕・改修・建て替えの費用に関する件を県への要望として出しています。

それ以外には、身元保証人のおられない利用者の皆様に対する課題があげられます。身元保証人を代行する法人が出てきていますがそれらの法人が、各施設の利用者の皆様に安心して頼めているのかどうかについての調査をしています。

これからも、軽費委員会は利用者お一人お一人の自由と尊厳をまもり、安心して住むことのできる住まいとして、会員の皆さんとともに協力し合って、活動を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



## 編集後記

桜が咲くころは新しい法の下での社会福祉法人がいっせいに芽吹き、若葉を地域社会に向けて広げようとしていることでしょう。みなさん、今が踏ん張りどきです。一人で悩まず、老人福祉施設協議会という後ろ盾がありますので、情報の共有を図って前向きに進んでいきましょう。自分自身に言い聞かせているように感じますが。

(佐々木)

明るい挨拶、丁寧なお辞儀や言葉遣い、相手への思いやり、物を大切にする心、自分も周りも気持ち良く過ごせるよう環境を整える（落ちているごみを拾う、汚れや水濡れをふきとるなど）等。これらの行為は暮らしの基本であり、行うのに要する時間はわずかである。私たちが生業としている対人援助は暮らしの基本からスタートする。今更言われなくてもわかっているはずの事柄が、思いの外できていないのが実情であり容易ではない。

(福原)

集団感染発生の新聞記事が後を絶ちません。見えない敵に対して、何を成すべきか。先日、インフルエンザの予防には、うがいの有効性は立証されていないとの報道を耳にしました。それでも「しないよりまし」と思えば、「する必要はない」と言い切れません。捨てることができず、増えていくことばかりです。

(溝口)

## 平成28年度 老施協活動報告

### 【老施協】

★28年12月7日 第2回理事会

クーポール会館

#### 【協議事項】

高齢者福祉研究大会実行委員会委員及び21世紀委員会委員の選任、就業規程の一部改正、会長表彰要綱内規の一部改正について

#### 【報告事項】

各委員会の活動状況、防災訓練の実施状況、「介護の日」の啓発活動実施状況、平成28年度各種研修実施状況及び今後の計画、平成31年度関プロ研究総会時期及び会場について

### 【企画経営委員会】

★28年10月31日 社会福祉法人改革研修会

\* 講師 社会福祉法人松渓会理事長 武居 敏氏  
グランシップ910会議室

★28年12月5日 第4回委員会

平成28年度活動の中間評価と平成29年度活動の方向、機関紙「しづ老施協」と編集担当組織のあり方、機関紙「しづ老施協」第48号編集内容の調整について

### 【研修委員会】

★28年11月30日～12月1日 県外施設視察研修

石川県金沢市 佛子園ほか

★28年12月9日 「人材育成とコミュニケーション」研修会

アクティシティ浜松コンгрレスセンター43・44会議室

\* 講師 同朋大学社会福祉学部 下山久之氏

★28年12月15日 リスクマネジメン研修会

県総合社会福祉会館703会議室

\* 講師 (株)安全な介護 山田 滋氏

★29年1月13日 「家族とつくるケアチーム」研修会  
三島市商工会議所大会議室

\* 講師 いづテラス 及川ゆりこ施設長

### 【21世紀委員会】

★28年11月4日 メンタルケア研修会

県総合社会福祉会館703会議室

\* 講師 心療対話士協会理事長 石井利幸氏

★28年11月5日 介護の魅力倍増セミナー

浜松中央長上苑 講演及びシンポジウム

★28年12月8日 介護の魅力倍増セミナー

県立大学短期大学部 講演及びシンポジウム

★28年12月14日 第6回委員会

事業進捗状況と今後の計画、カントリーミーティングの開催について

★29年1月16日 第7回委員会及び委員向け研修会

県総合社会福祉会館103会議室

\* 講師 一空園 栗野裕治施設長

### 【高齢者福祉研究大会実行委員会】

★28年10月21日 第4回実行委員会

第8回高齢者福祉研究大会開催状況、アンケート結果、収支決算見込みについて

★28年11月22日 第5回実行委員会

正副委員長の選出、第9回高齢者福祉研究大会について

### 【養護委員会】

★28年11月4日 第2回委員会

クーポール会館

静岡県への要望について、情報交換

### 【軽費委員会】

★28年11月8日 栄養士研修会

ケアハウスはるかぜ4階研修室

\* 講師 みはるの丘浮島管理栄養士 内田由花

★28年11月16日 相談員研修会

ケアハウス慈恩地域交流室

\* 講師 神宮寺住職 高橋卓志氏

★28年11月21日 介護職員研修会

浜松市福祉交流センター

\* 講師 白寿園ケアハウス 古本達也施設長

★28年12月1日～12月2日 県外施設視察研修

石川県金沢市 佛子園ほか

### 【在宅委員会】

★28年12月8日 第4回委員会

研修会内容、平成28年度活動状況と平成29年度活動について

★29年1月27日 介護予防・デイサービス事例研修会

県総合社会福祉会館703会議室

# 共同研修等活動費助成事業の活用について

静岡県老人福祉施設協議会では、職員の自主的な研修活動を促すため「共同研修等活動費助成事業」を実施しています。この事業では、研修講師謝礼、会場費、消耗品などの費用を対象としていますが、主な狙いは費用の助成よりも会員の施設相互間連携促進にあります。同様な悩みや課題を抱えた施設職員、とりわけ少数職種の職員が地域的な繋がりの中でグループをつくり、研修会を実施することにより課題解決の道をさがす場合などに効果的です。これまでに中東遠地区や志太榛原地区の多くの施設で活用いただいているいます。

## 1 活動の狙い

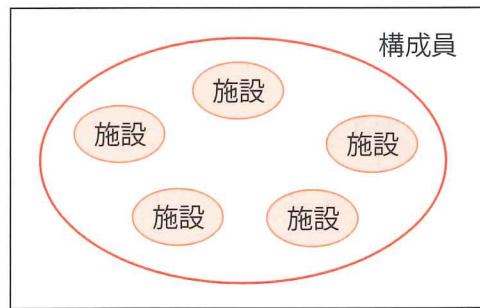
- ① 小集団活動、地域的な活動の促進
- ② 施設の事業種別を横断した取組の推進
- ③ 多岐多様で細分化された在宅事業の取組の推進
- ④ 施設の少数職員の地域的・職種別なつながりの推進  
(栄養・ケアマネ・相談・事務・看護といった専門職)

## 2 研修のパターン（3型）※原則5以上施設

### （1）組織型

\*老施協の支部との関連組織や関連事業を除外

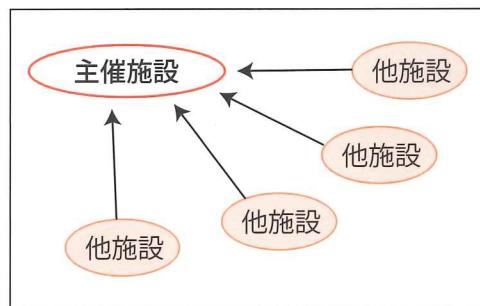
- （例）・志太榛原地区特養ホーム施設長連絡会（代表 愛華の郷）  
(平成28年2月、社会福祉法改正内容講演会)
- ・中東遠地区職種別（相談員）研修会（代表 明和苑）  
(平成28年2月、相談員メンタルヘルスケア研修)



### （2）参加型

- （例）○○施設の施設研修に近隣から参加

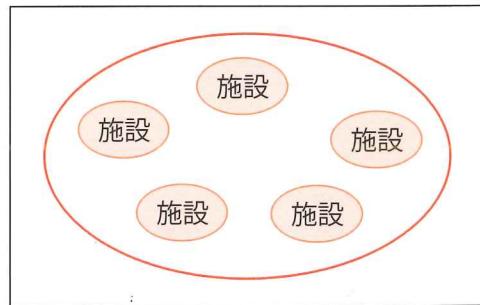
\*施設研修の会場の施設内外は不問  
\*運営の形によっては「(3) グループ型」に



### （3）グループ型

\*その時だけのグループ又は組織で実施  
\*職員単位の場合には、代表に決められている職員の所属する施設長で申請

- （例）・6施設共同研修会（代表 さつき園）  
(平成26年9月、メンタルヘルスケア研修)



## 3 助成額

- （1）助成額 1件につき 5万円（限度額）
- （2）助成枠 予算の定める範囲内（平年度ベース20件）
- （3）対象経費 講師謝礼（交通費含む）、会場借用料、材料・消耗品の購入費
- （4）申請事務 事務局へ申請→研修委員会の審査→交付決定→事業実施→報告・請求→支払い